

The Israel Goldman Collection

This is Kyōsai!

ゴールドマンコレクション

ジフカムラ 東京新聞

Bunkamura

これぞ
鬼才
歌麿!

世界が認めたその画力

2017
2/23 thu.

会期中
無休

4/16 sun.

【開館時間】10:00~19:00(入館は18:30まで) 【夜間開館】毎週金・土曜日は21:00まで(入館は20:30まで)
【主催】Bunkamura、アートディレクション、東京新聞 【後援】ニッポン放送、ブリヂストンカラシナ、日比谷公園ファン事務局 【協力】日本航空
【お問い合わせ】Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)、[Bunkamura ザ・ミュージアム] <http://www.bunkamura.co.jp>

Bunkamura ザ・ミュージアム

北口・米菴本店舗

美しい時代へ
東急グループ

技に注目!
暁斎の多彩な

おかしな世界
神々たちの

海に泡われるの美と歓喜の精神
ひこうくい興奮の本來のあり方

技術で感動的な作品です。
「私達が住む大切なものまで、
あるいはあらゆる技を使いした
美しい多様な作品が一堂に会します。

これぞ暁斎!



世界が認めた
暁斎コレクション、
一挙公開!

ユーモラスな
動物たちが
大活躍!



入館料(通常料)	当日	前売・团体
一般	1,400 円	1,200 円
大学・高校生	1,000 円	800 円
中学・小学生	700 円	500 円

前売券

【販売期間】2016年12月17日(土)~2017年2月22日(水)

【販売場所】Bunkamura タチバナ(全国のセブンイレブン、サークルKサンクス、ローソンコンビニ、ファミリーマート、ヨドバシAkiba)、JTB、CNアートギフト、タカラーニ各店、他主要立地店

新商品のオラジナルクリアファイルが付いたスペシャルセット

グッズ付チケット 【価格】1枚 1,200 円(税込) 一般のみ

【販売期間】2016年11月1日(火)~2017年2月22日(水)

【販売場所】タチバナ(全国のセブンイレブン、サークルKサンクス、ローソン)
※アラフィットは入場時に入口にて別途購入となります。

一般券1枚と音声ガイド券を1枚扱ったお得なチケット

音声ガイド付チケット 【価格】1枚 1,600 円(税込) 一般のみ

【販売期間】2016年12月17日(土)~2017年2月22日(水)

【販売場所】Bunkamura タチバナ(全国のセブンイレブン、サークルKサンクス、ローソンコンビニ、ファミリーマート、ヨドバシAkiba)、CNアートギフト
※音声ガイドは無料当日券、会場内、音声ガイドカードにてお引換となります。



Bunkamura ザ・ミュージアム 東京・品川

【開館】午前 10:00~17:00(最終入館) 午後 10:00~16:00(最終入館)

<http://www.bunkamura.co.jp>

展覧会ナビゲーター

西田家小笠原井北さん

黒澤のカメラと歌との世界へ

みんなさあ聞いて下さい。



展覧会イメージソング

和田昌吉とコトハセイの歌でBunkamuraをめぐらし

1日1曲を歌ふ! 和田昌吉パフォーマンス

みんなの歌の輪の輪の輪をまく



講演会

山下祐二元25記念講演会

「ハイブリッドな絵師・河鍋暁斎」 貴重画として、洋洋繪師として

【日時】2017年2月27日(月) 19:00~ 【会場】Bunkamura 桜庭会場

【講師】山下祐二氏(元文化庁文化顧問)

【定員】120名 / 事前申込制 【参加費】無料(要事前申込・料金)

及川雅志による記念講演会

「暁斎の近代性」

【日時】2017年3月18日(月) 19:30~ 【会場】Bunkamura 展示室

【講師】及川雅志(文部科学省文化政策委員会委員長)

【定員】60名 / 事前申込制 【参加費】無料(要事前申込・料金)

Thu. February 23 - Sun. April 16, 2017 Open 7 days a week

Opening Hours: 10:00~19:00 Last admission: 18:30

Tuesday and Saturday 10:00~21:00 Last admission: 20:30

The Bunkamura Museum of Art

Admission Fee tax included

Adults Y1,400 Y1,200 College & high school students Y1,000 Y800

Junior High & elementary school students Y700 Y500

*Fees in brackets denote separately priced for members of groups of 20 persons and down

*Pre-arranged photo sessions, Bunkamura 03-3477-0437

*Students must present their student cards including elementary school students

Access

【A】From the Hachioji Line of Tokyo Metro station or the JR Line (Ariake), take a walk from Hachioji Station to the Hachioji Gion Line and Kotsu Hachioji Line (Ariake). Turn right from the East side of Hachioji Station to the Toei Tawara Line, Toei Chiyoda Line, Toei Nishi Hanzomon Line and Toei Monzennakacho Line.

【B】From the Hachioji Line of Tokyo Metro station or the JR Line (Ariake), take a walk from Hachioji Station to the Hachioji Gion Line and Kotsu Hachioji Line (Ariake). Turn right from the East side of Hachioji Station to the Toei Tawara Line, Toei Chiyoda Line, Toei Nishi Hanzomon Line and Toei Monzennakacho Line.

【C】From the Hachioji Line of Tokyo Metro station or the JR Line (Ariake), take a walk from Hachioji Station to the Hachioji Gion Line and Kotsu Hachioji Line (Ariake). Turn right from the East side of Hachioji Station to the Toei Tawara Line, Toei Chiyoda Line, Toei Nishi Hanzomon Line and Toei Monzennakacho Line.



《百鬼夜行図屏風》

明治4年(1871) 河鍋暁斎 金村子 (著) 木版大判ハーフカット

Kawanabe Kyōsai, a prominent artist at the turn of the 20th century

Kawanabe Kyōsai (1831–1889) is a leading painter who lived during the tumultuous period from the last days of the Tokugawa regime and the early Meiji period. He began studying under the ukiyo-e master Utagawa Kuniyoshi at an early age and then moved to the Kōsō school—where he completed his studies at just 19 years of age. He developed many different painting styles and was not beholden to any particular school or orthodoxy. His paintings covered a wide range of subjects, from Buddhist imagery to witty caricatures infused with his unique brand of humor. Kyōsai is considered a master of his art, and this exhibition, chosen from the acclaimed private collection of Israel Goldstein, displays the wide range of his artistic output.



これ時代の 幕末から明治を生きた 天才絵師、河鍋暁斎。

河鍋暁斎（1831—1889）は、時代が大きく揺れ動いた幕末から明治を生きた絵師です。幼い頃に浮世絵師の歌川国芳に入門したのち、狩野派に学び19歳の若さで修業を終え、さらには源氏に惚れらず様々な画法を習得しました。仏画から戯画まで幅広い画題を、ときには独特のユーモアを交えながら、圧倒的な画力によって描き上げた暁斎。本展は、世界屈指の暁斎コレクションとして知られるイタリア・ゴルダム氏所蔵の作品によって、多岐に渡る暁斎作品の全貌像を示します。

第3章

The Bustling Era

幕末明治

転換期の
ざわめきとにぎわい



《名鏡倭魂 新板》

明治14年(1881) 大内義三郎作 絹本着色 大英美術大学アーリントン館蔵
此圖の構図が芭鳴外画を西北洋に送らせるが、
そのなかに桃葉羽衣の高麗人マークの筆も見える。

第4章



戯れる

福と笑いを
もたらす守り神

Lucky Gods and Protectors of the Home

『鍾馗と鬼』

明治14年(1881) 大内義三郎作 絹本着色 大英美術大学アーリントン館蔵
此圖は「風車」が「芭鳴外」の筆であることを示す。



第5章

百鬼縦乱

異界への誘い



地獄太夫と一休

明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション
左の図は100点近い絵を収めた面紙の一作
であった。大きな墨に對し、小さなたぬきが
可愛らしい小品。

第6章

祈る

仏と神仙、先人への尊崇



達磨

明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション
かわづ山・サブコロゾーが考案して
いた作品の一つで、大画面かつ背景に
描かれた風景に満ちた達磨。

出会い

始まり
ゴルドマンコレクション

序章

The Origins of the Goldman Collection

第1章

鳥瓜に二羽の鶴

明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション

傳の墨に対して熟した鳥瓜の色彩が見える。歌川
と桃山の鶴図のなかでも
相違で力強い筆使いが物
足りる作品。



Animal Life

躍動するいのち

動物たちの世界

第2章

動物の曲芸



明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション

この図

《象とたぬき》

明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション

左の図は100点近い絵を収めた面紙の一作
であった。大きな墨に對し、小さなたぬきが
可愛らしい小品。

万国飛

Gulls Flying over Many Lands
世界を飛び回った
鳩たち

第3章

動物の世界

明治10(1877)年秋、歌川国芳
Photo: 玄蕃堂アーティストコレクション